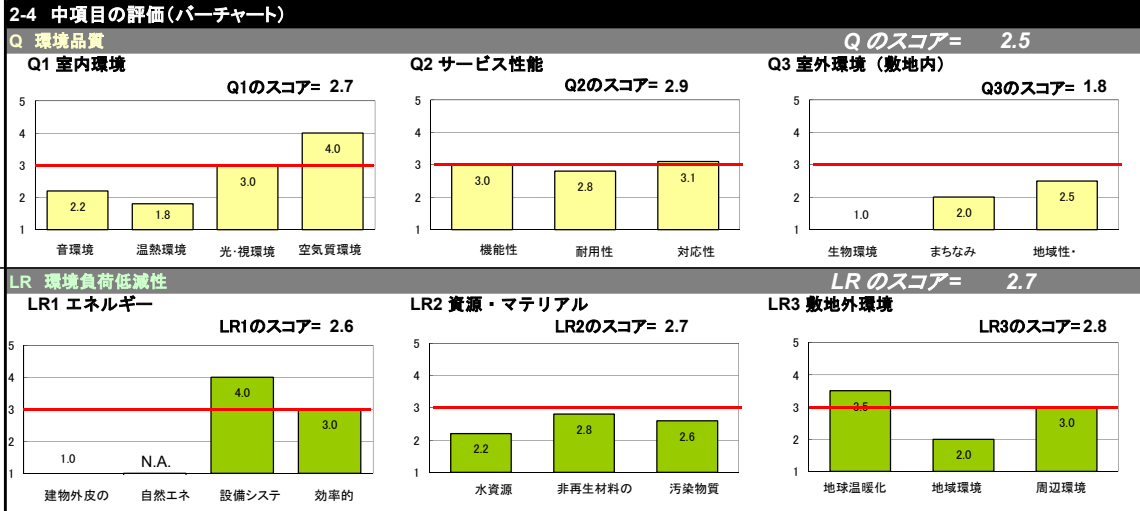
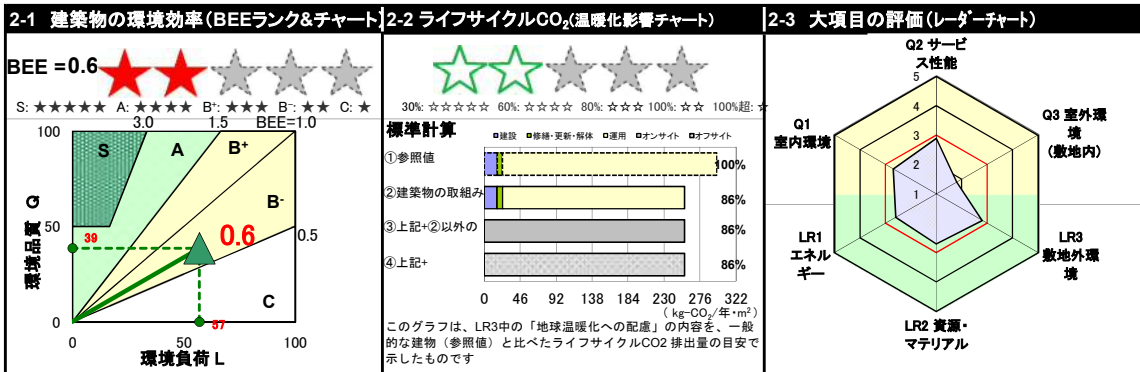


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	菟屋ファッションモール	階数	地上2F
建設地	愛知県一宮市菟屋一丁目3-4ほか9	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	527 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2017年5月13日
敷地面積	4,467 m ²	作成者	吉川 勝
建築面積	1,251 m ²	確認日	2017年5月13日
延床面積	2,490 m ²	確認者	吉川 勝



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.5</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.8</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用
Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4) 地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属面積)を除いた敷地面積}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

モリゴ ちんぽ

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質								2.5	
Q1 室内環境					0.40		-	2.7	
1 音環境				2.2	0.15		-	2.2	
1.1 騒音				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				1.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				1.0	1.00		-		
2 界壁遮音性能				-	-		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-		-		
1.3 吸音				3.0	0.20		-		
2 温熱環境				1.8	0.35		-	1.8	
2.1 室温制御				2.6	0.50		-		
1 室温				3.0	0.50		-		
2 外皮性能				1.0	0.17		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.33		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-		
2.3 空調方式				1.0	0.30		-		
3 光・視環境				3.0	0.25		-	3.0	
3.1 昼光利用				3.0	0.50		-		
1 昼光率				-	-		-		
2 方位別開口				-	-		-		
3 昼光利用設備				3.0	1.00		-		
3.2 グレア対策				-	-		-		
1 昼光制御				-	-		-		
3.3 照度				-	-		-		
3.4 照明制御				3.0	0.50		-		
4 空気環境				4.0	0.25		-	4.0	
4.1 発生源対策				5.0	0.50		-		
1 化学汚染物質			建築基準法を満たしかつ規制対象外のほぼ全的にF☆☆☆☆	5.0	1.00		-		
4.2 換気			建築基準法の基準の2.5倍の換気量	3.0	0.30		-		
1 換気量				5.0	0.50		-		
2 自然換気性能				-	-		-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50		-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50		-		
2 喫煙の制御			ビル全体の禁煙	5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-	2.9	
1 機能性				3.0	0.40		-	3.0	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性				-	-		-		
2 高度情報通信設備対応				-	-		-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30		-		
1 広さ感・景観			売場の天井高さ3.5m(2階)以上	4.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33		-		
3 内装計画				3.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.8	0.31		-	2.8	
2.1 耐震・免震				3.0	0.48		-		
1 耐震性				3.0	0.80		-		
2 免震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.7	0.33		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23		-		
2.4 信頼性				2.6	0.19		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-		
3 対応性・更新性				3.1	0.29		-	3.1	
3.1 空間のゆとり				4.2	0.31		-		
1 階高のゆとり			階高4.73m	5.0	0.60		-		
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40		-		
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31		-		
3.3 設備の更新性				2.3	0.38		-		
1 空調配管の更新性				3.0	0.17		-		
2 給排水管の更新性				2.0	0.17		-		
3 電気配線の更新性				3.0	0.11		-		
4 通信配線の更新性				3.0	0.11		-		
5 設備機器の更新性				1.0	0.22		-		
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22		-		

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数				
							Q3 室外環境(敷地内)			-
1 生物環境の保全と創出	独自③		1.0	0.30					1.0	
2 まちなみ・景観への配慮	独自④		2.0	0.40					2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30					2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④		2.0	0.50						
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50						
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	2.7	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	-	-	2.6	
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm=1.02	1.0	0.38					1.0	
2 自然エネルギー利用			-	-					-	
3 設備システムの高効率化			4.0	0.38					4.0	
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEIm=0.85	4.0	1.00						
集合住宅の評価(3c)			-	-					-	
4 効率的運用			3.0	0.25					3.0	
集合住宅以外の評価			3.0	1.00						
4.1 モニタリング			3.0	0.50						
4.2 運用管理体制			3.0	0.50						
集合住宅の評価			-	-					-	
4.1 モニタリング			-	-					-	
4.2 運用管理体制			-	-					-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	-	-	2.7	
1 水資源保護			2.2	0.15					2.2	
1.1 節水			1.0	0.40						
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60						
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67						
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33						
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.63					2.8	
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07						
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24						
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20						
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20						
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05						
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24						
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.22					2.6	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32						
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.68						
1 消火剤			2.0	0.50						
2 発泡剤(断熱材等)			-	-						
3 冷媒			3.0	0.50						
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	-	-	2.8	
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2概算値:86%	3.5	0.33				3.5	
2 地域環境への配慮				2.0	0.33				2.0	
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25						
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50						
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25						
1 雨水排水負荷低減	独自		3.0	0.25						
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25						
3 交通負荷抑制	独自		3.0	0.25						
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25						
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33					3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40						
1 騒音	独自		3.0	0.33						
2 振動	独自		3.0	0.33						
3 悪臭			3.0	0.33						
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40						
1 風害の抑制			3.0	0.70						
2 砂塵の抑制			-	-						
3 日照障害の抑制			3.0	0.30						
3.3 光害の抑制			3.0	0.20						
1 屋外照明及び屋内照明のつち外に漏れる光への対策			3.0	0.70						
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30						

重点項目スコアシート

電屋ファッションモール

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.5
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.5	0.10	
② 資源の有効活用				2.8
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.1	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	カジュアル衣料と靴、0-12歳を対象とした衣料品販売店舗を新築します。事業用借地に物品販売店舗を建設するという特性上、過大な費用投資を抑えています。その中で対応が可能な事項について検討をし対策を講じています。
Q1 室内環境	ビル全体を禁煙としています。また、内装のほぼ全面にF☆☆☆☆を使用し換気扇の換気量も建築基準法の2.5倍以上としています。
Q2 サービス性能	売場の天井高さを1階で3.8m、2階で3.5mとしています。
Q3 室外環境(敷地内)	外壁の位置を前面道路から下げて計画しています。
LR1 エネルギー	設備システムの高効率化を図っています。
LR2 資源・マテリアル	配慮できる事項がありませんでした。
LR3 敷地外環境	地球温暖化への配慮（ライフサイクルCO2概算値86%）を行っています。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。